東邦看護学会
NEWS LETTER2022

学会員の
学術集会発表とその後を
お聞きしました！

佐倉病院 - 飯塚さん、竹内さん
大森病院 -氏家さん
大橋病院 -根井さん

ご協力いただいた学会員のみなさま
ありがとうございました！

第22回東邦看護学会 学術集会
看護のトランスレーショナル
～基礎教育から臨床へ、臨床からその先へ～
2022年12月17日（土）
大会長：長谷川 真美

東邦看護学会入会のご案内
皆さんの研究や取り組みを発信してください。
入会お待ちしております！

入会はこちらから➡

身近な学会で伝えたかった！

演題：生前から看取り後までの継続したカンファレンスが看護師に与える影響
第20回学術集会賞受賞/東邦看護学会誌第19巻2号実践報告
東邦大学医療センター佐倉病院

身近な学会という存在

東邦看護学会を選んだのは、身近な人たちに伝えたいと思ったからです。日々自分たちがやってきた事だったので、身近な人の方が細かい状況もわかってもらえるかな。共感してもらえるかなと思いました。
大きな学会で発表すれば、影響力も大きいのかもしれないけど、身近な学会でコツコツやっていこうという思いはありました。

学会で報告したことが名刺代わりに

病棟を移動した時に、学会誌の同じ病院のところを読んでくれたみたいで、名前や取り組みを知っていただく機会になっていて、名刺代わりになっていました（笑）。同じ病院の中でも、他の病棟の研究テーマを知らなかったりするので、論文が名刺の代わりになるんですね。

仲間の存在とサポート体制

病棟の先輩がひとりでこのテーマで研究をしていて、いっしょにできたらと思い参加しました。その先輩とは仕事では先輩ですが、研究の中では壁を感じさせないようにしてくれて、私達の意見も聞いてくれるしフラットな感じです。がんばったことを形にしたいねということで論文にしました。途中、むずかしくて、挫折しそうになったけど、3人みんなでがんばりました。師長さんや副部長さんも話し合いに参加してくれて励みになりました。そんなサポートもあってめげずに完成することができました。

私たちのように看護研究を通して、学会に少しでも興味を持ってもらえればと思います！

（広報委員より）
うれしいお話しがたくさん聞けました。身近な学会。専門的な学会との違い。改めて東邦看護学会の良さを確認した時間でした。

研究ってたいへん、から実践につながるおもしろいものになった！

演題：意思決定の段階にあるがん患者とその家族を支える効果的なカンファレンスの仕組みづくり
第20回学術集会賞受賞/東邦看護学会誌第19巻2号実践報告
東邦大学医療センター大森病院

業務を研究として整理する

病棟で、がんの患者さんも多いしカンファレンスをもっと生かしてやっていきたいねと話していました。しかし、下の学年とかカンファレンスに構えている感じもあったので、困った時にカンファレンスにつながる仕組みを作ったらやりやすいのかな。と思って始めました。業務を改善することを研究として整理してみよう。プロジェクトチームでやっていく中で、実践報告できるね。と変わっていったということはあると思います。

（広報委員より）楽しそうにお話しいただいた姿が印象的でした。研究で集まる時は、お菓子は必ず準備します（笑）と。病棟のみんなと楽しそうに進めている姿を想像しました。研究はたいへんだけど楽しい。

発表のしやすさ

東邦看護学会は東邦大学や付属病院の方が多いので、病棟の特徴もわかるし、発表しやすいというのはありますね。論文にすることも最初から考えていたわけではありませんが、論文にしたからこそ、その時の評価ができるのかなと思いました。

実践につながるとおもしろい

就職してはじめて研究に参加しました。大学生の時のイメージは、研究ってたいへんなもの（笑）。今回のように日々の実践につながる。生かせるというのは、おもしろいと思いました。経験を積んで見えてきたということもあるかもしれません。

認定看護師の活動報告を東邦看護学会でスタート！

演題：慢性心不全看護認定看護師の活動報告
第13回学術集会賞受賞/東邦看護学会誌第12巻2号実践報告
東邦大学医療センター大橋病院

周りのサポートがあった

東邦看護学会で報告してみたらと言ってくれたのは師長さんです。慢性心不全看護認定看護師の1期生なんです。その時慢性心不全看護認定看護師になって1年目くらいで、あまり発表するのが得意ではなかったので（笑）。でも発表してみて活動できていたのかなとうれしくなったことを覚えています。論文にする時も、看護学部の先生がサポートしてくださってまとめることができました。発表や論文を読んでくれた心不全看護認定看護師を受験しようと思う大森や佐倉の方から相談されたり、東邦大学の他の付属病院の活動を知る機会にもなりますね。学会で他の付属病院の発表を聴くと、刺激にもなるし参考にしています。

専門の学会との併用

循環器学会など認定看護師として入会している学会もあります。心不全チームで活動している内容は専門の学会などで発表しています。東邦大学クリニカルラダーに、ラダーⅡに学会に参加する。その後に研究し発表するというのがあるので、まずは気軽に参加できる東邦看護学会を活用できるといいですね。

（広報委員より）心不全看護認定看護師1期生の根井さんの発表のスタートが東邦看護学会だったなんてうれしくなりました。付属病院の実践者の多い本学会。どんどん活用していただけるよう広報します！

IMPORTANT!

【重要】学会員の皆さまへ
会員登録情報の入力・更新のお願い！
（12月15日まで）

現在、**日本学術会議の協力学術研究団体の指定**を受ける準備をすすめています。これには学術研究活動団体であることを社会に示すメリットがあります。指定を受けるためには、会員の皆さまの**最新の所属**や**研究活動の情報が必要**となります。オンライン会員情報管理システムの既存の入力項目につきまして、改めてご確認いただき、更新をお願いします。
ご協力をお願いいたします。

会員情報の入力・更新は
こちらから➡